

高齢者における未破裂脳動脈瘤外科治療危険因子の後方視的解析研究

2006年1月以降2016年12月の間に当院にて未破裂脳動脈瘤の治療を受けた60歳以上の患者さん

研究協力をお願い

当科では「高齢者における未破裂脳動脈瘤外科治療危険因子の後方視的解析研究」という研究を行います。この研究は、2006年1月1日より2016年12月31日までに日本医科大学付属病院脳神経外科科にて、未破裂脳動脈瘤のために開頭または血管内治療を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：高齢者における未破裂脳動脈瘤外科治療危険因子の後方視的解析研究
研究期間：2017年3月10日（倫理委員会承認日）～2019年1月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 脳神経外科 森田 明夫

(2) 研究の意義、目的について

日本では高齢者に多く未破裂脳動脈瘤が発見されます。未破裂脳動脈瘤は破裂すると予後が悪くも膜下出血をきたしますが、高齢者における治療の適応は、治療成績との兼ね合いから不明確です。そこで高齢者の未破裂脳動脈瘤の治療の予後に関する因子を解明することで、どのような症例には治療を差し控えるべきかを明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について

2006年1月1日より2016年12月31日までに日本医科大学付属病院脳神経外科にて、未破裂脳動脈瘤の開頭または血管内治療を受けられた60歳以上の患者さんの治療前・後の経過などを解析し、治療の結果（合併症の有無など）に関連する重要な因子（年齢、術前の運動の状況、身体活動レベル、MRIでの脳所見、動脈瘤のサイズや場所、など）にはどのようなものがあるのかについて検証します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 脳神経外科 部長 大学院教授 森田明夫
〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6663
メールアドレス：neurosurgery@nms.ac.jp